

1. 科目名 (単位数)	英語講読Ⅲ (2単位)	3. 科目番号	EDEN1303
2. 授業担当教員	阿部 裕子		
4. 授業形態	講義、グループ学習、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本講座の目標は、中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけることにある。そのため David Crystal の英語の歴史に関する本を講読し、古英語から現代英語までの英語の歴史を概観しつつ、英語の特徴を把握していく。この講読作業の中で、英語の文章構造を速やかに把握する方法を身につけ、英語学とりわけ、英語の音声の仕組み・英文法・英語の歴史の変遷と国際共通語としての英語の役割を考察する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の音声の仕組みについて学習し、理解している。</li> <li>2. 英語の文章構造を含めた英語の文法について学習し理解している。</li> <li>3. 英語の歴史の変遷及び国際共通語としての英語の実態を学習し理解している。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	宿題：授業の予習と復習 (事前学習と事後学習の欄を参照) 授業コメント：毎授業後に学んだことに関する感想や質問を必ず記述し送信する (授業参加度に計上) 確認テスト：前回の授業で学んだ内容に関する小テストを毎回授業開始時に実施する (小テスト点に計上) レポート：(A4用紙1枚程度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1. The Origins of English、Old Englishの要点のまとめ</li> <li>2. Middle Englishの要点のまとめ</li> <li>3. Modern Englishの要点のまとめ</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> David Crystal 著 西出公之 註 『A History of The English Language』成美堂、2000。 <b>【参考書】</b> 山内信幸・北林利治 共編著 『現代英語学へのアプローチ』英宝社、2014。 堀田隆一 著 『英語の「なぜ?」に答える はじめての英語史』研究社、2016。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の音声の仕組みについて学習し、理解しているか。</li> <li>2. 英語の文章構造を含めた英語の文法について理解しているか。</li> <li>3. 英語の歴史の変遷及び国際共通語としての英語の実態を理解しているか。</li> </ol> ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コースワーク (20%)：授業中の態度・活動参加度。</li> <li>2. 小テスト・レポート課題 (40%)</li> <li>3. 期末テスト (40%)</li> </ol> なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	本授業では、全文英語の英語史テキストの読解に挑戦する。はじめは到底不可能に感じられるかもしれないが、真面目にコツコツ取り組んでいけば必ず書かれていることを理解し、英語史の全体像をつかむことができる。最後には、本テキストを読み切った充実感と、自らの英文読解力の向上を感じるようになる。どうかすぐにあきらめたりせず、分からない英文を理解しようと努力を続けてほしい。 英文を読む時は、一語一句確認していくのではなく、段落単位でまず読み進め、全体の概要を捉えるような心がけてみよう。授業では、グループで協力して速読把握に挑戦し、詳細読解に取り組んでいく。グループメンバーと協力したり、他グループの解釈を確認する作業を通して多くの学び合いが期待できる。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。 授業担当教員メールアドレス：hiabe@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	Introduction：講義概要・学習方法・評価基準 英国や英語に関する基礎知識・英語史概観	事前学習	教科書のはしがきと目次、本シラバスを読み、これから学ぶ「英語の歴史」の全体像を把握する。
		事後学習	授業で学んだ「英語史概観」の要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第2回	1. The Origins of English 英語の起源① 概要把握：何世紀から始まり、誰のことについて書かれているか、登場する人名や民族名の関係性、時代背景などの背景知識	事前学習	Chapter 1 The Origins of English (pp.1~5)を音読する。資料を参考に各段落の概要把握に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「英語の起源(概要)」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第3回	1. The Origins of English 英語の起源② 詳細読解：ブリトン島にやってきたのはどのゲルマン民族か、どこに定住したか、ケルト人はどうなったか、英語 English の語源とは	事前学習	Ch.1 The Origins of English について、資料を参考に詳細読解に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「英語の起源(詳細)」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第4回	2. Old English 古英語① 概要把握： 2.1. The Early Period (pp.6-9) 初期の古英語 2.4. Old English Letters (pp.17-20) 文字 2.5. Old English Sounds (pp.20-24) 音声 2.6. Old English Grammar (pp.24-31) 文法 2.7. Old English Vocabulary (pp.31-32) 語彙 2.8. Lexical invasions (pp.35-39) 語彙的侵略	事前学習	Chapter 2 Old English (pp.6~44)を音読する。資料を参考に各節の概要把握に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「古英語の概要」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第5回	2. Old English 古英語② 詳細読解：初期の古英語へのケルト語やラテン語の影響、古英語の特徴(文字、音声、文法、語彙)、デーング語の影響	事前学習	Ch.2 Old English について、資料を参考に詳細読解に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「古英語の特徴」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。レポート1の作成に取り組む。

第6回	レポート1提出 3. Middle English 中英語① 概要把握： 3.0. Historical background (pp. 45-48) 中英語の歴史背景、 3.4. Middle English Spelling (pp. 61-64) 綴り 3.5. Middle English Sound (pp. 66-69) 音声 3.6. Middle English Grammar (pp. 70-71) 文法 3.7. Middle English Vocabulary (pp. 71-75) 中英語の語彙	事前学習	Chapter 3 Middle English (pp. 45~82)を音読する。資料を参考に各節の概要把握に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「中英語の概要」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第7回	3. Middle English 中英語② 詳細読解： 中英語の歴史背景、特にノルマン征服によるフランス語の台頭、その後の英語の台頭、英語が生き残った理由について	事前学習	Ch. 3 Middle English の歴史背景について、資料を参考に詳細読解に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「中英語の歴史背景」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第8回	3. Middle English 中英語③ まとめ： 中英語の特徴、初期の綴りの多様性、フランス語の影響、ミニムの混乱、その他の特徴(音声、文法、語彙)	事前学習	Ch. 3 Middle English の特徴について、資料を参考に詳細読解に挑戦し、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「中英語の特徴」について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。レポート2の作成に取り組む。
第9回	レポート2提出 4. Early Modern English 近代英語初期①： 4.0. Historical background (pp. 83~85) 近代英語初期の歴史背景 4.1. The Age of Bibles (pp. 85~87) 聖書の時代 4.2. English During the Renaissance (pp. 85~87) ルネッサンス期の英語 4.3. The Influence of Shakespeare (p. 87~88) シェイクスピアの影響	事前学習	Chapter 4 Early Modern English (pp. 83~88)を音読する。資料を参考に近代英語初期の歴史的背景や特徴、聖書やルネッサンス、シェイクスピアについて概要把握に努め、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「近代英語初期」の始まりのきっかけや、近代英語初期の特徴、聖書やルネッサンス、シェイクスピアの影響について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第10回	4.4. The King James Bible (pp. 88~92) 国王ジェームスの聖書=欽定訳聖書 4.5. The Emerging Orthographic System (pp. 93~95) 正字法の出現 4.7. Sound Changes (pp. 97~100) 発音変化 4.8. Early Modern English Grammar (pp. 100~105) 近代英語初期の文法	事前学習	Ch. 4 Early Modern English (pp. 88~105)を音読する。資料を参考に近代英語初期の特徴について、特に欽定訳聖書の影響、正字法、大母音推移、文法の特徴について概要把握に努め、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「近代英語初期」の特徴について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第11回	5. Modern English (pp. 111~127) 5.0. Introduction (pp. 111~112) 序論 5.1. The rise of prescriptive grammar (p. 114) 規範文法の登場 5.2. New Nation, New Themes (pp. 117~120) 新しい国家、新しいテーマ	事前学習	Chapter 5 Modern English (pp. 111~120)を音読する。資料を参考に「近代英語」の特徴、特に現代英語との違い、規範文法、アメリカ英語について概要把握に努め、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「近代英語」の特徴について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第12回	5.3. American Identities (pp. 120~121) アメリカのアイデンティティ 5.3. Variety Awareness (pp. 122~123) 多様性への気づき 5.4. In Living Memory (pp. 124~127) 生きた記憶の中に	事前学習	Ch. 5 Modern English (pp. 120~127)を音読する。資料を参考に「近代英語」におけるアメリカ文学、多様性、生きた記憶の概要把握に努め、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「近代英語」の特徴について、要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。レポート3の作成に取り組む。
第13回	6. World English (pp. 128~153) 6.0. Introduction (p. 128) 世界英語とは 6.1. The New World (pp. 128~130) 新しい世界 6.2. Dialect Differences (pp. 130~135) 方言	事前学習	Chapter 6 World English (pp. 128~135)を音読する。資料を参考に「世界の英語」の概要把握に努め、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「世界の英語」の要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第14回	6.2. Black English (pp. 135~139) 黒人英語 6.3. A World Language (pp. 149~152) 世界言語 6.4. Standard English (pp. 152~153) 標準英語	事前学習	Ch. 6 World English (pp. 135~153)を音読する。資料を参考に黒人英語や標準英語の概要把握に努め、不明な点を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだ「黒人英語」や「標準英語」の要点を自分なりにまとめ、次回の確認テストに備える。
第15回	総まとめ：既習事項の総復習、「英語の歴史」の全体像の把握、質疑応答、学習の振り返り発表	事前学習	これまでの学習を振り返り「英語の歴史」の全体像の要点をまとめるとともに、不明な点を確認しておく。これまでの授業コメントを再度読み返しておく。
		事後学習	15回の授業で学んだことをよく復習し、期末試験に備える。
期末試験			